

いじめを解決する “処方箋”はあるのか？

今また、いじめ事件が大きく報じられ、子どもをめぐる教育環境が問題視されています。各所で様々な議論がされていますが、果たしていじめを解決する処方箋はあるのでしょうか。また一方で、子どもをめぐる問題には発達障害が問題視され、早期発見・早期治療が行われていますが、本当にそれで解決されているのでしょうか。いじめを含めた子どもをめぐる問題から今の社会を考えていきたいと思えます。

日 程：2012年 **11**月**23**日(祝)

時 間：13:00～15:00

会 場：公益財団法人
東京YMCA
山手コミュニティーセンター
(詳細は裏面をご覧ください)

参加費：**1000**円
(学生は**500**円)

※参加をご希望の方は、
当日直接会場へお越しください。

講師：石川憲彦さん

児童精神科・小児科医
林試の森クリニック院長

東京大学病院にて、小児科・精神神経科(病棟)の臨床に従事。2年間マルタ大学医学部において研究に専念し、1996年より静岡大学で、保健管理センター教授・所長などを歴任。2004年林試の森クリニックを開業。主な著書に「子どもたちが語る登校拒否」(世織書房)、「治療という幻想」(現代書館)、「子育ての精神医学」「子どもと出会い別れるまでー希望の家族学」(ジャパンマシニスト)がある。

▼お問合せ：東京YMCA “liby (リビー)”
TEL 03-5988-7832 [正午～午後8時]
e-mail liby@tokyo.ymca.or.jp

▼会場へのアクセス

公益財団法人東京 YMCA 山手コミュニティセンター
〒169-0051 東京都新宿区西早稲田2丁目18-12
03-3202-0321



東京メトロ東西線 高田馬場駅下車 7番出口
西武新宿線・JR山手線 高田馬場駅下車 徒歩7分
東京メトロ副都心線 西早稲田駅下車 1番出口 徒歩3分
都営バス早稲田大学行「高田馬場2丁目」下車 徒歩2分

▼liby とは

” let it be ” をキーワードとした新しい YMCA

liby とは、” let it be at YMCA of Tokyo ” の略。「let it be 一ありのまま」をキーワードに、いわゆる不登校の子どもたちへの対応に始まり、いじめ、暴力、広い意味での教育の問題など、様々な子どもたちとかわりながら一緒に考えてきました。この13年間で関わった家族は約900組にのぼります。常識的とされている生き方や考え方に疑問や違和感を感じたり、息苦しさを感じていたりする人がそのままいられる「場」や、誰もが「ありたいありよう」で居られる社会を作りたい、お互いに let it be で居られる関係を作りたい、そんな願いを持って活動しています。



*YMCAとは、世界125カ国に広がる社会教育団体です。その活動の範囲は、教育、国際、福祉等広範囲にわたっています。